

<発行>
 鹿児島市立
 武中学校
 鹿児島市武 3-42-1

新米教師に憧れて

校長 前田 浩二

私が本校で一番大切にしていることは、生徒たちに希望をもってもらうということだと思います。夢や目標と言い換えてもいいのですが、生きていくうえで一番大事なものだと思っています。

私は、中学二年時の学級担任のK先生に憧れて教員になりました。その方は、大学を卒業したばかりの女性の国語の先生でした。教員一年目の新米先生なので、授業はさほど上手ではありませんでした。しかし、一生懸命教えてくれました。準備に多くの時間をかけて授業に臨まれていることが、子どもながらにわかりました。それまであまり好きでもなく、成績も芳しくなかった国語に興味をもつようになり、いつの間にか好きな教科になっていました。

また、K先生は生徒一人一人のことをよく見てくれました。中学二年生のこの頃は、私の父が失業した年でした。思春期の私にとってこの出来事はとてもショックでしたので、学校でも元気がなかったのだと思います。ある日、K先生が私の自宅を訪ねてこられました。

た。そして、母と話を
 して帰って行かれました。
 た。その時に母が、「いい
 先生だね。」と言っていた
 のので、きっと、私の
 学校での様子が変わった
 ことに気が付かれ、心配して来てくださったのだと思います。



そんな優しいK先生でしたが、厳しく注意されることもありました。あるとき、女子生徒の日記を男子生徒が盗み読みするという事件がありました。日記の持ち主の女子生徒は泣いていました。私は、つい、「そんなに大事な物なんやったら、机の上なんかには置かなくてよかったですね。」と言ってしまうました。それを聞いたK先生は、烈火の如く怒り、「もったいない。女の子の気持ちを理解しなさい。だから前田君は女の子にもてんのよ。」と私を叱りました。「女の子にもてんのよ。」は、大きなお世話だと思いましたが、自分の日記を読まれるぐらい平気だった当時の鈍感な自分の物差しで見るとは、もったいない。繊細な心も察して寄り添っていく気持ちをもたなければならぬことを学びました。

そして、K先生の影響で、中学校を卒業してからも教員になるのもいいなという思いを抱くようになり、今に至りました。

我々大人は、周りにいる子どもたちに大きな影響を与える存在です。できれば憧れられるような生き方をしたいと思えます。そのためには、何かにチャレンジしたり、仕事に一生懸命だったり、生活や趣味を楽しんだりする姿を見せ、大人っていいなと思ってもらうことが大事なのかもしれません。とは言え、我が子三人には、私の背中で見せてきたつもりでしたが、誰も教員にはなりませんでした。がっかりです。

英語スキット

スピーチコンテスト

十月二五日に鹿児島市中学生英語スキット・スピーチコンテストが中央公民館で行なわれ、本校からもスキットの部に二年生二人が演題「Always Be Myself」(私らしく)、スピーチの部に三年生一人が演題「The Wonder of Do-You」(童謡の素晴らしさ)で出場しました。両者とも頑張り三年生が最優秀賞、二年生が三位と素晴らしい結果になりました。



文化祭

十月二七日の文化祭では、合唱コンクールと各種ステージ発表と展示発表がありました。コロナ禍が明け各学年保護者の参観もあり、活気が戻ってきた文化祭になりました。

文化祭フォトギャラリー

舞台の部

展示の部



山形と鹿児島の歴史



